

2021 年 1 月

お客様各位

拝啓 新春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
このたび、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に罹患された方々とご家族の皆様へ心よりお見舞い申し上げます
とともに、一日も早いご回復と感染症の終息をお祈りいたします。

世界中で第3波を迎えている新型コロナウイルス感染症は依然終息の気配を見せず、ワクチンの開発は進んでいるものの、私たちの手元にいつ届くのか、またその安全性や有効性も気になるところです。その一方で、アート市場における購買意欲は衰える様子がなく、室内で過ごすことも多かった2020年は、美術品への更なる興味そしてその魅力の再発見へと繋がったのかもしれません。

まずは、9月ニューヨークのアジア・アート・ウィークでは、日本のプライベートコレクションから出品されたガンダーラ美術が落札総額1,387万8,750ドル(約14.6億円)を達成、トップロットの仏三尊像(推定3-4世紀)は663万ドル(約7億円)でオークションレコードを更新し、非常に好調な結果を残しました。今回はコレクションの半分が出品され、残り半分は今年3月のオークションに出品される予定で、今から期待に胸が膨らみます。また葛飾北斎の「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」も相変わらず高い人気を誇り、落札額は111万ドル(約1.17億円)で記録を更新、全体的に見てもアジア・アート・ウィークの総額は昨年比2倍以上を達成し、とても活気ある一週間となりました。

また下半期は7月の『ONE: A Global Sale of the 20th Century』オークションに続いて、複数の会場を中継でつなぎ、リレー方式でオークションを開催するハイブリット型のオークションが盛況でした。10月中旬にはロンドンとパリで、また、12月初旬には香港とニューヨークで開催され、毎回ライブ配信で何十万人もの方々がその様子を視聴しました。デジタル技術の発展で、もとよりグローバルだったアート業界は、益々分け隔てのないものへと変わっていくのではないのでしょうか。実際にオンライン・オークションでは新規顧客の参入が目立ち、既存顧客もこの機会にオンライン入札を活用し始めるケースが多く、上半期と比べオンラインでの参加に抵抗がなくなっているお客様も増えてきているようです。

そして一年の締めくくりとなる12月の香港オークションは、近代絵画・コンテンポラリーアートに牽引され、大盛況のうちに終了致しました。平均落札率88%を達成、出品作品の半数以上がエスティメート上値を超えて落札され、美術品とラグジュアリー分野において34のオークションレコードが更新されるという快挙を遂げました。合計落札総額は30億香港ドル(約400億円)を超え、近代絵画・コンテンポラリーアートの分野は、本年アジアで行われたオークションでの最高額(17億3,390万6,375香港ドル/約233億円)を記録し、世界のアート市場におけるクリスティーズ・アジアの強い存在感を示す結果となりました。

弊社では本年も引き続き作品のご売却・ご購入について、皆様のご要望にお応えできれば幸いに存じます。末筆となりましたが、時節柄ご自愛いただきますようお願いするとともに、皆様のご健勝を心より祈念しております。

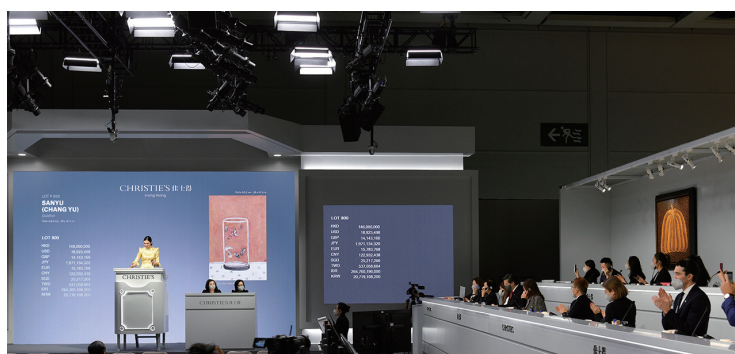
敬具

株式会社クリスティーズ ジャパン
代表取締役社長 山口 桂

*日本円は参考価格 (US\$1= ¥105/ HK\$1= ¥13.45)
*落札価格は買い手手数料を含む

click /

Instagram はじめました
@ christiesjapan
クリスティーズジャパン
公式日本語アカウント



2020 年 12 月 2 日 クリスティーズ香港 トップロットとなったサンユーの「金魚」 動画を見る (Instagram)

印象派・近代美術、戦後・コンテンポラリーアート

担当：河崎 千恵、高山 茉也

新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態とその長期化に見舞われた下半期は、刻々と変わる状況に応じて、秋季オークションのスケジュールを大幅に見直しました。また、ストリーミング技術などの新しいテクノロジーを駆使することはもちろん、これまで《印象派・近代絵画》《戦後・コンテンポラリー》と分けていた部門を《20・21世紀美術》として統一することで、分野を超えて密接にグローバルに協力し合う体制を強化しました。

ニューヨークは、例年11月中旬に開催していたオークションを10月初旬と12月初旬の2回に分けて開催しました。香港は、毎年11月末だったオークションの開催時期を12月初旬に変更し、イブニングセールの一部をニューヨークと共同で開催する新しい試みを取り入れました。ロンドンとパリの2都市でも、10月下旬にオークションを同時開催しました。

その結果、10月・12月ニューヨークの秋季オークション落札総額は約5億7390万ドル（約602.6億円）に達し、下半期のマーケットシェアのトップを占める結果となりました。香港の秋季の落札総額も17億3,390万6,375香港ドル（約233億円）で、同分野のクリスティーズ・アジア史上最高値であるとともに、2020年にアジアで開催された全てのオークションの中でも最高落札総額を記録しました。ロンドンとパリの落札総額も1億781万1,292ポンド（約145.5億円）で、マーケットの下半期のトップシェアとなりました。

また、こうした状況の中で、同分野のプライベートセールとオンライン・オークションは期待を上回る伸びを見せ、活況を呈したことは大きな特徴でした。

20世紀美術ウィーク ニューヨーク 20th Century Week October 6 - 8

10月初旬に行われた、ニューヨークの20世紀美術ウィークの落札総額は3億8,724万2,500ドル（約406.6億円）となりました。オークションの様子はライブで全世界に配信され、28万人以上が視聴。40歳以下の若いバイヤー層の増加も顕著でした。複数の作品が30億円以上で落札され、いわゆるマスターピースと言われる作品に対するコレクターの変わらぬ関心の高さが感じられました。

20世紀美術イブニングセールのトップロットはサイ・トゥオンブリーの「無題 [Bolsena]」（1969年）で、3,868万5千ドル（約40.6億円）、マーク・ロスコの「無題」（1967年）は3,127万5千ドル（約32.8億円）、パブロ・ピカソの「肘かけ椅子の女」（1942年）は2,955万7,500ドル（約31億円）で落札されました。イブニングセールの最後を飾ったのは、ティラノザウルスの化石「スタン」で、エスティメート下値の5倍近い3,184万7,500ドル（約33億円）で落札され、会場を沸かせました。戦後・コンテンポラリーアートのデイセールでは、一昨年35歳の若さで亡くなったカナダ人アーティスト、マシュー・ウォンの「Shangri-La」（2017年）が、エスティメート下値の9倍近い、447万ドル（約4.7億円）で落札され、デイセール史上3番目に高い落札価格として話題となりました。



サイ・トゥオンブリー《無題 [Bolsena]》（1969年）
10月6日 ニューヨーク20世紀美術 イブニングセール

20世紀美術 ロンドン・パリ同時開催 Postwar and Contemporary Art, London, Paris Avant-garde, Paris October 22 - 23



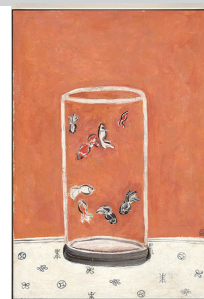
ピーター・ドイグ《ボイラーハウス》1993
10月22日 ロンドン 戦後・コンテンポラリーアート イブニングセール

10月下旬には、ロンドンとパリの2都市で、ポール・ハイム氏の野外彫刻のコレクションのシングルオーナーセールを幕開けに4つのオークションが開催されました。このシングルオーナーセールでは、ロット、価格ベースともに100%の落札率を収め、ヨーロッパ各地でロックダウンが再開される不安定な情勢に反して、アートを求める熱はまったく冷めていないことを印象付けました。全セール中、トップロットを飾ったのは、ロンドンの戦後・コンテンポラリーアート、イブニングセールの出品された、ピーター・ドイグの作品で、コルビジエの建築を描いた「ボイラーハウス」（1993年）が、1,389万5,500ポンド（約18.8億円）で落札されました。また、デイヴィッド・ホックニーがオペラ・ハウスを25年間率いたデイヴィッド・ウェプスターを描いた肖像画が1,286万5千ポンド（約17.4億円）で落札され、売上はロンドンのロイヤル・オペラ・ハウスへと寄付されました。その他、ロンドンのイブニングセールではフランシス・ベーコンやルシアン・フロイドといったイギリスの作家にも積極的な入札が行われました。パリのアヴァンギャルド・

オークションではロベール・ドローネーやピエール・スーラージュ、ザオ・ウーキーが根強い人気を示しました。

モダン&コンテンポラリーアート 香港 Modern and Contemporary Art / Sanjyu: Goldfish December 2

香港では、12月2日のモダン&コンテンポラリーアートのイブニングセールの皮切りに2日間で、5つのオークションが開催されました。全オークションを通しての落札率は94%を誇り、さらに45%の作品がエスティメート上値を超えて落札されました。落札総額は17億3,390万6,375香港ドル（約233億円）を記録し、これはクリスティーズアジア史上、落札総額では最高値を更新し、更に2020年にアジアで開催された全オークションの中でも最高の落札総額となりました。トップロットとなったのはサンユーの「金魚」（1930～40年代制作）で、落札価格は1億7,017万香港ドル（約23億円）でした。イブニングセールの出品された同作家の別作品も1億3,811万香港ドル（約18.6億円）で落札され、サンユーの人気の高さがうかがえました。



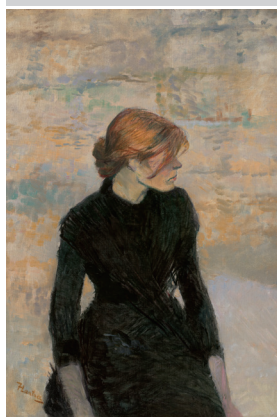
常玉（サンユー）《金魚》
12月2日 香港「サンユー：金魚」特別オークション

イブニングセールでは、[ジャン・シャオガンの「血縁：大家族 No. 2」](#)も大きな注目を集めました。この作品は、1995年の第46回ベネチアビエンナーレにも出品された大作で、9,803万5千香港ドル（約13.2億円）で落札され、アーティストレコードを大きく更新する結果となりました。また、[藤田嗣治の1921年制作の初期の裸婦](#)が、エスティメート下値の4倍近い3,745万香港ドル（約5億円）で落札され、藤田の裸婦としては史上2番目に高額な落札となりました。ザオ・ウーキー、ジョルジュ・マチュー、白髪一雄をはじめとする戦後抽象絵画の巨匠たちの作品も、大きな存在感を示しました。その他、日本人現存作家の[加藤泉の「無題」（2008年制作）](#)が、162万5千香港ドル（約2,200万円）でオークションレコード（落札当日時点）を更新しました。デイセールでは、[草間彌生の「Pumpkin」](#)が、小品ながら1つの画面にカボチャが2つ描かれるその珍しさに注目を集め、エスティメート下値の3倍以上となる1,525万HKドル（約2億円）で落札されました。



藤田嗣治《横たわる裸婦と犬》
12月2日 香港 モダン&コンテンポラリーアート
イブニングセール

「20世紀美術：香港からニューヨークへ」 香港・ニューヨーク共同リレー開催 20th Century Hong Kong to New York December 2 - 3



トゥーラーズ＝ロートレック 《Pierreuse》
12月2日 ニューヨーク 20世紀美術：香港からニューヨークへ

12月2日の夜は、香港のモダン&コンテンポラリーアート、イブニングセールの後に、サンユーの代表作「金魚」に特化したオークションを挟み、香港からニューヨークへとハンマーが引き継がれるリレー形式のオークション、「[20世紀美術：香港からニューヨークへ](#)」が2会場共同で開催されました。このオークションでは、気鋭の作家の活躍が目覚ましく、香港セクションの1ロット目の[ジャラ・ヒューズ](#)が落札価格412万5千香港ドル（約5,600万円）でアーティストレコードを残したのに続き、2ロット目の[アモアコ・ボアフォ](#)もアーティストレコードとなる889万香港ドル（約1.2億円）の落札価格でアジアでのデビューを華々しく飾ると、セールはさらに活況を呈し、ニコラス・パーティ、ダナ・シュッツ、ジョイス・ペンサート、メアリー・コースなど、多くの作家が自身のアーティストレコードを更新しました。

「20世紀美術：香港からニューヨークへ」のニューヨーク・セクションでトップロットとなったのは、[ロートレックの「Pierreuse」（1889年）](#)で、エスティメート下値の3倍を上回る、906万2千ドル（約9.5億円）で落札となりました。このほか、印象派・近代絵画からはモネやジャン・アルプの重要な作品が出品され、こちらも世界各国から旺盛な入札がありました。

20世紀美術ウィーク ニューヨーク 20th Century Marquee Week in New York December 2 - 4

12月のニューヨーク20世紀美術ウィークでは、12月2日の「20世紀美術：香港からニューヨークへ」のニューヨーク・セクションに続き、12月3日にコンテンポラリーアートのデイセールが3つ、4日に印象派・近代絵画のデイセールが2つ開催されました。また、[ピカソの陶磁器作品のオンライン・オンリー・オークション](#)は、100%の落札率で、相変わずの人気の高さを誇りました。12月の3日間にわたるニューヨークの20世紀美術ウィークの落札総額は、1億8,661万8,100ドル（約196億円）でした。

東洋美術

担当：伊波 誠二、久世 雅彦

日本・韓国美術 ニューヨーク Japanese and Korean Art September 22

2017年以来、特に活況を呈している浮世絵版画ですが、今回、日本の個人コレクションより北斎の富嶽三十六景の代表的図柄である、「浪裏」「赤富士」「黒富士」が揃って登場したことで話題性も高まり、「[神奈川沖浪裏](#)」が111万ドル（約1.17億円）で落札され、北斎版画のオークション記録を更新しました。世界で最も有名な日本美術とも言われ、新規参加者も加わり、予想を遥かに超える結果を導き出しました。また、今回は森田子龍、篠田桃紅、加藤嶺山、田辺竹雲斎など、現代美術を積極的に加えることで、既存の作品群に変化を持たせ、新しい購買層にも魅力ある構成に高めた結果、落札率は84%、落札総額はエスティメート下値に対して約1.44倍の伸びとなりました。



葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》
9月22日 ニューヨーク日本・韓国美術

ガンダーラ美術～日本個人コレクション ニューヨーク *Devotion in Stone: Gandharan Masterpieces from a Private Japanese Collection* September 23



《如来三尊像》
9月23日 ニューヨーク ガンダーラ美術 - 日本個人コレクション

約30年間、最も重要なコレクションの一つが秘かに日本に存在しており、その中には1970年代以降、この分野の文献に必ずと言って良いほど掲載されている、希少性の高い年紀が入った「如来三尊像」が含まれていました。世界中からビッドが入り、この「如来三尊像」は、エスティメートの10倍、663万ドル（約7億円）で落札され、ガンダーラ美術の世界記録を樹立しました。その結果、これまでのオークション記録トップテンのうち、本コレクションの4点を含む8点をクリスティーズが保持することとなりました。

中国書画 香港 *Fine Chinese Classical Paintings and Calligraphy / Fine Chinese Modern and Contemporary Ink Paintings* December 1 - 2

7月に続き、海外から香港に入ることが出来ない状況のなか、ハイライト作品の巡回展を北京、上海、台北で開催し、各地で盛況を博しました。香港の下見会は、1年前と比べても入場者数が大きく減ることもなく、関心の高さを維持しておりました。落札率は価格ベースで近代部門は89%、古書画は93%で、質の高い作品にビッドが多く集まり、全体の62%がエスティメート上値を超える結果となりました。

特に日本の来歴を持つ作品が好調でした。沈周と文徵明の合作「詩画合卷」（落札価格2,665万香港ドル/約3.6億円）は1980年代に、八大山人「枯木双禽」（落札価格1,009万香港ドル/約1.4億円）は1940年代に、文徵明「行書〈後赤壁賦〉」（落札価格525万香港ドル/約7,000万円）は1930年代に、そして王鐸「書」（落札価格625万香港ドル/約8,400万円）、黄慎「桃源図巻」（落札価格600万香港ドル/約8,100万円）なども日本コレクターの所蔵でした。近代では吳昌碩「花卉冊12開」が1,825万香港ドル（約2.5億円）とエスティメートの約10倍で落札されました。



沈周・文徵明合作《詩画合卷》 12月2日 香港 中国古書画オークション

中国美術 ニューヨーク・パリ *Sacred and Imperial: The James and Marilynn Alsdorf Collection* September 24
Art d'Asie, Paris, December 10

昨年度の中国美術工芸オークションは、パンデミックの渦中にあっても堅調に推移しているように見える。なかでも宗教的な主題の作品は目立って高い。シカゴの篤志家、ジェームス & マリリン アルスドルフ夫妻は、近現代西洋絵画からオールドマスター、東洋美術全般など、その幅広い美的嗜好を原動力とし、精力的にこれらの作品を買い求めた。二人は、シカゴ市のアートパトロンとして、シカゴ市民の文化芸術的リテラシーの向上に大いに寄与したが、なかでも彼らの蒐集した、インド、東南アジア美術はコレクションの中でも出色で、それまであまり評価されていなかったこの分野において先駆的な意味合いを持つという。秋のクリスティーズ・ニューヨーク、アジア・ウィークのオークション（中国美術を中心とする）で、夫妻のコレクションが競売にかけられた時、南インドチャョラ王朝のシバ神像が435万ドル（約4.6億円）に達し、彼らの業績は顕彰された。このほか中国は隋の大理石造仏頭も225万ドル（約2.4億円）とエスティメートの3倍以上の値をつけた。

直近では、12月初旬のパリで、ウィリアム H. ウォルフ（1973 - 1990）旧蔵の13世紀チベットの観世音菩薩と金剛手菩薩の立像がそれぞれ176万ユーロ（約2.2億円）と194万ユーロ（約2.4億円）で落札された。エスティメートは双方とも10万ユーロ以下であった。彼はもともと羽毛のトレーダーで、仕事で中国へ渡航した折にその地の文化的遺物に出会い、数寄が高じて中国美術ディーラーに転身した。ちなみに前述アルスドルフ夫妻の神像も、かつてこの元羽毛商人の扱いである。

これら一連の仏教美術など宗教的遺物への揺るぎない市場価値の高さが、国際的な災禍の中、一切衆生の救済を求める心理の高さを反映しているとしたら、煩惱即菩提とはよく言ったものである。

宝石 香港・ジュネーブ・ニューヨーク

Hong Kong Magnificent Jewels November 29
Magnificent Jewels - Geneva November 10 / Magnificent Jewels - New York December 8

2020 年秋期ジュエリーオークションは、画像・動画等でのビューイング、オンラインや電話での入札と、デジタルメディアを駆使した環境のなか、本当に多くのお客様にご支援をいただいたシーズンとなりました。



《Fancy Intense Blue ダイヤモンドイヤリング》
11月29日 香港 宝石オークション



《カルティエ Cartier Carioca ブローチ》
11月29日 香港 宝石オークション



《カシミール産サファイアとダイヤモンドのブレスレット》
12月8日 ニューヨーク 宝石オークション

今秋の香港宝石オークションでは「[3.29 珍 Fancy Intense Blue](#)」のダイヤモンドイヤリングがファイナルロットに。最上級のクラリティとカラーを兼ね備えた、トップグレードのブルーダイヤを二粒、全く同じ大きさで揃えたイヤリングの希少性に注目が集まり、会場と電話ビッドでの応札の末、エスティメート 2,500 ～ 3,500 万香港ドルの上限を大きく超え、4,705 万香港ドル（約 6.6 億円）で落札されました。また、今回は美しいティファニーの個人コレクションを筆頭に、ブルガリ、カルティエ、グラフ、ハリー・ウィンストンなど、全出品作品 229 点の約半数がメゾン作品となりました。

画像中央の[カルティエのブローチ](#)は 38 ～ 58 万香港ドルのエスティメートに対して約 4 倍の 187 万 5 千香港ドル（約 2,500 万円）で落札。クリスティーズ宝石部門では、エスティメートの設定の際にメゾン名や限定作品であることの付加価値は加味しておりませんが、コロナ禍で作品を実際にご覧いただけるお客様が少ない環境下、メゾン作品への高い信頼とその希少性を改めて実感するセールとなりました。

ニューヨーク、ジュネーブでもそれぞれ約 95% の落札率を記録。約 40 カ国のお客様にご参加いただいた、[ニューヨーク・オークション](#)では高品質のサファイアが多数出品されました。トップロットを飾った [43.10 珍のカシミール産サファイアとダイヤモンドのブレスレット](#)は 603 万ドル（約 6.33 億円）でハリー・ウィンストンが落札、「THE WINSTON LEGACY SAPPHIRE」と名付けられました。

2021 年春季オークションに向け、香港宝石部門統括ヴィッキー・セックを迎えてテレビ電話での査定会を開催しております。市場の現状や見通し、ご所有のコレクションについてお話しさせていただきます。ご予約を承りますので、この機会にどうぞお気軽にお問合せください。

時計 香港

ドバイ・ジュネーブ オンライン
ニューヨーク オンライン

Important Watches including an The Ruby Collection and An Important Private Asian Collection Part V November 28
Watches Online: Dubai Edit October 15-29 / Geneva Edit November 5-19
Rare Watches New York: Online November 24 - December 10

今シーズンは、コロナ禍の影響で、本来予定されていたドバイ、ジュネーブ、そしてニューヨーク・オークションの会場開催は中止、オンライン・オンリーに変更となり、唯一、香港オークションのみが会場でライブ開催となりました。オンライン・オークションでは、ライブと異なり約 2 週間の入札期間を設け、多くの国から幅広い世代のお客様にご入札をいただきました。ミレニアム世代のお客様の新規ご参加も目立ち、今の時代を感じる流れとなりました。三会場とも落札総額は約 5 億～7 億円超に上り、オンライン・オークションとしての落札総額記録を次々更新しました。

[香港会場でのライブ・オークション](#)には、パテックフィリップの時計のダイヤルにルビー・インデックスをあしらった一点物の時計「ルビー・コレクション」8 点を筆頭に計 228 点が出品され、1 億 4,534 万 1,250 香港ドル（約 20 億円）の売り上げを達成。クリスティーズは三期連続でアジア・マーケット首位を堅持する大成功を収めました。また、今回のセールの特筆すべき点といたしまして、日本のお客様の存在の大きさがございました。387 万 5 千香港ドル（5,200 万円）で落札され、オークション落札記録を樹立した[パテックフィリップの型番 2526 ホワイトゴールド](#)の出品者が日本人のコレクターであったこと。また、今回のトップロット、[型番 3448 ホワイトゴールド](#)は 925 万香港ドル（約 1.2 億円）で同モデルのオークション記録を達成しましたが、その買い手も日本のお客様でした。クリスティーズがオークションを通し、時計の公平な売り買いができる場を日本のお客様にご提供できたことを嬉しく思います。



《パテックフィリップ Ref. 2526
18K ホワイトゴールド》
11月28日 香港 時計オークション



《パテックフィリップ Ref. 3448 18K ホワイトゴールド》
11月28日 香港 時計オークション

さて、2021 年の春の香港オークションでは、既にトップロットの一つとして、パテックフィリップの歴史的タイムピース 型番 3448 イエローゴールド「アラン・パンバリー」モデルの出品が決定しており、早くも来季への期待が高まります。

*日本円は参考価格（US\$1= ¥105 / HK\$1= ¥13.45）
落札価格は買い手数料を含む